

「あやぎぬ頌」より

千葉絹子さん

○シースルー嘘もまことも緋い交ぜに

○悪女志願三角波を胸に飼う

○歯ごたえの無さで流れる交差点

○万華鏡長所短所はどうでもよい

○ゼラチン質の闇に心が犯される

○手櫛梳く視野一面の竹林

○西高東低乳房ツンツン春を指す

○思惑の向こうで梅がポツと咲く

○行方不明の言葉吊して寒気団

○切り口のみずみずしさに狼狙える

○過去形でトランプペットの残尿感

